



令和3年度 神石高原中学校 経営構想図

神石高原中学校区 育成コンセプト
未来を拓く人づくり

校訓
夢・実現

学校教育目標

未来を切り拓く生徒の育成

ミッション

神石高原町に対する誇りを持ち、未来を拓く人と文化を創造する学校づくり

めざす学校像 (ビジョン)

地域に開かれた信頼される学校

- 知・徳・体の調和がとれた教育のできる学校
- 小・中・高 12 年間の要として責任を持った学校
- 地域の期待に応え、地域とともに生徒を育てる学校

めざす子ども像 (ビジョン)

社会に貢献できる資質・能力を身につけた生徒

- 「夢・実現」に向けて主体的に学び挑戦する生徒
- 郷土を愛し、世界に目を向ける生徒
- 神石高原中学校生徒の心得が実践できる生徒

神石高原中学校一生徒の心得—

いじめを許しません 身だしなみを整えます 心を込めた掃除をします 礼儀正しい挨拶をします 時間を守ります

令和3年度は挨拶を重点に様々な場面での指導や実践を進めます

認識

選択

育成する資質・能力

表現

アイデンティティ

主体性

コミュニケーション能力

- ・ 自己受容ができ、自分らしさを理解し、強みを発揮できる。
- ・ 地域課題や時代の流れを理解し、未来に対して希望と責任を持つことができる。

個性の感覚、自己存在感

- ・ 様々な場面で、優先順位を考え、選択し、自分の意思で決めて、行動ができる。
- ・ 変化に対して臨機応変に判断し、状況に応じた柔軟な対応ができる。

自己決定

- ・ 他者を尊重したコミュニケーションができ、合意形成ができる。
- ・ 相手や場面に応じて、言葉の使い方や表現の仕方などを工夫しながら伝えることができる。

共感的人間関係の育成、絆

本年度の重点プロジェクト

- 「まなび12」プロジェクト (知)
—自ら学ぶ かしこい子—

- (ふかめる) ○各教科で基礎基本の定着とともに探究型の授業を進めます。
- (かなえる) ○各種検定・大会等、挑戦することを推奨します。
- (つながる) ○小中高連携で、一貫した教育を進めます。

- 「Jin」プロジェクト (徳)
—やさしく あたたかい子—

- (探 究) ○教材開発、地域学の実践および地域課題へのアプローチを進めます。
- (貢 献) ○ボランティア活動を推奨します。
- (体 験) ○様々な体験を積める機会をつくります。

- 「心と体」プロジェクト (体)
—しなやかで つよい子—

- (心をひらこう) ○ちがいを認め、共に歩む集団を育成します。
- (楽しもう) ○わくわくする運動機会を創出します。
- (元気をつくろう) ○健康の維持・増進に努めます。

めざす教職員像 (ビジョン)

何事にも自ら挑戦する自立した教職員

- 変化に応じて柔軟な対応ができ、創意工夫ができる教職員
- 生徒の気持ちや背景に寄り添い、かかわり続ける教職員
- 地域と学校をつなぎ協働に参画する教職員

学校運営協議会 (コミュニティスクール)